

生長の家神の国寮だより

# 光の泉

the spring of light



第 24 号

令和3年度 7月号

公益財団法人 生長の家社会事業団  
児童養護施設 生長の家神の国寮  
〒186-0003  
東京都国立市富士見台2-39-1  
tel 042-572-8770  
fax 042-573-9205  
<http://www.kamino92.or.jp/>

## 新発売！ 心に塗る油

施設長 國弘昭義

フレッシュな10名の新任職員を迎え3ヶ月が過ぎました。今月号には新任職員「自己紹介」と「似顔絵」が紹介されていますのでぜひ御覧ください。それぞれ個性のかつ優秀な「人財」ばかりです。

### 五百のありがとう！

「新任職員研修」では、創立者・谷口雅春先生の墓前に一緒にお参りして、一人一人の入職の報告を行うとともに、全員に宿題を出しました。「自分のストロングポイント」と「感謝したいこと」をそれぞれ50個書くことです。

自らのストロングポイント（長所）を書き出すことは、子供の養育支援にもつながることです。一人一人の子供に宿る「天分」を日々新鮮な気持ちで発見する「眼力」を身に付けること、そして粘り強くその「天分」を信じて「讃嘆の言葉」

また、一人一人が綴ってくれた「五百のありがとう」に感動しました。かけがえのない存在として育てて下さったお母さんへの「ありがとう」をはじめ、両親、家族、友達への特別の想い。「好きなことが沢山ある」「ピアノが弾ける」「個性が強い」：たくさん楽しい「ありがとう」。そして、「傷ついた落ち込んだ経験がある」「いじめられた経験ができた」さらに「日本に生まれたこと」「両親が出逢ってくれたこと」そして「生き



4月 新人研修

親が出逢ってくれたこと」そして「生きていること」「一心にしみました！

### 生き方変えよのメッセージ

ところで、最近「感謝の意味」を深く考えさせられたのは、おそらく私自身に他ならないと思います。今年3月、私は執務中に施設内で倒れ、救急車で救急病院に搬送されました。「不幸中の幸いですよ！」「脳梗塞の一手手前で戻ってきた」と医師や看護師から口々に言われ、一週間の入院を経て無事職務に復帰することができました。

眼が見えること、手足が動くこと、食事ができること、健康で働くことができること、その「有り難さ」を私自身が身をもって心の底から実感しました。そして、真理の言葉に「ぶつかつたら目が覚める。ぶつからせることも神様の慈悲である」とあるように、今回の緊急入院という人生の壁にぶつかつたことは、今まで健康で働くことがアタリマエと過信し周りの人々の注意にも耳をかさずに不摂生な生活を続けてきたことを大いに反省する「生き方変えよのメッセージ」だったと気付かされたのです。改めて宇宙の大生命に生かされている命に感謝し、周りのすべての人々に「ありがとう」を言います。ありがとうございます。感謝合掌させていただくことから再出発を誓いました。そして、遅ればせながら「禁煙」し玄米食に切り替え、日々「神想観」（瞑想）と「聖経読誦」（先祖供養に励ませて

いただくいております。

### 感謝油 // 朗か油 // 愛の油

創立者・谷口雅春先生は、その著『人生読本』において、不平不満、悲しみ、恨み等の「心の摩擦」をなくすことが人生を好転させ仕事を順調に運ぶ原動力になるとして、「新発売、心に塗る油」というご文章を書かれています。

心に塗る油の一種は「感謝油」と申します。また「朗か油」という名前の油も売り出されております。また「愛の油」というのもあります。どこに、そんな心に塗る油を売っていますか。

あなたの心の中に売っているのですよ。あなたの心の中を掘ればどれだけでも滾々と湧き出て来るのです。

感謝の油は、「ありがとう」という言葉の力で汲み出すのです。なんでも「ありがとうございます」という言葉を心に思い、また口に出すのです。ただ「ありがとう」とさえ思えば、その思いは「心」を潤す油となって、人と人との摩擦はなくなり、不平は無くなり、物事は順調にゆくようになります。「朗か油」もあなたの心の店で売っています。これは「どんなに悪く見えることでも、必ずよくなる。自分は運が好いのだから、必ずよくなるほはしかたがない」と常に考えるようになります。真夜半がきたら、朝になる朝が楽しいのです。人間の心を柔げる油に「愛の油」という素晴らしい油があります。「愛の油」を注すと、どんなものでも摩擦がなくなります。

仕事に愛を感じ、働かせてもらうことに、喜びと感謝とをもって勇敢に生きて行く時には、人間は働くほど健康になるのです。元気になるのです。病気が治ってかえって治ってしまうのです。

感謝の心、朗らかな心、愛の心で、職員の中の心を拝み、子供たちのいのちを拝み、みんな笑顔弾ける「幸せ感いっぱい」の神の国寮を創ってまいります。本年度も変わらぬご指導ご鞭撻ご支援賜りますようお願い申し上げます。